|                   | $N_0$ .   |
|-------------------|---|
| 商品・工法名称           | ダイプラハウエル管   |
| 商品・工法の分類          | ■瓦礫処理、□除染作業、□除染仮置き、■復旧・復興、□その他  |
| 商品・工法概要           | ダイプラハウエル管 (JISK 6780) を集排水管・圧送管に用いることで公共工事の主な課題となるコスト縮減・工期の削減、工事の簡素化、小規模化を図ることが可能となった。主に耐震性が要求される配管、高盛土下、軟弱地盤、急傾斜配管などの埋設条件に適した特性を有し、また耐薬品性に優れるため廃棄物処分場の集排水管等に採用事例が多い。更には長尺、軽量であるため施工性が向上し施工期間の低減が可能である。国土交通省、地方自治体、公共機関などに多数の実績があり、有用な技術として「平成 22 年度準推奨技術(新技術活用システム検討会議〔国土交通省〕)」に選定された。 |
|                   | 管種 規格 備考  外圧管 R30,60,90,120 φ300~3000 F30,60,90,120 JIS K 6780, JSWAS K-15  内圧管 1種 φ300~2000 HIPPAS-01  |
| 商品規格·概略図<br>等     | 廃棄物処分場での実例<br>道路下カルバートエの実例  |
| 使用・施工条件<br>適応場所など | ・高盛土下カルバート工<br>・軟弱地盤・急傾斜配管<br>・廃棄物処分場内集排水,圧送管<br>・内圧管<br>・突貫工事対応等   |
| その他必要資材           | 特になし  |
| 使用・施工上の留意点        | ・管の裏込材は砕石を標準とする。<br>・管裏込材の転圧は一層 20cm 以内で、タンパー、振動ローラで締め固める。必要<br>に応じて設計で設定した締め固め度の管理値を確保しているか確認をする。<br>・地下湧水等の発生がある場合は暗渠の設置などの処理を行う。   |
| 維持管理              | 特になし  |
| 経済性               | 材工(直工のみ): 参考<br>・R30φ1000 砕石(C-40)基礎:72,353 円/m<br>・R30φ1500 砕石(C-40)基礎:150,058 円/m   |
| 参考文献              | <ul><li>・日本工業規格 JIS K 6780</li><li>・日本下水道協会規格 JSWAS K-15</li><li>・道路土工 カルバート工指針 (日本道路協会)</li></ul>  |
| 問合せ先              | 大日本プラスチックス株式会社<br>大阪本社:〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田三丁目1番3号<br>(ノースゲートビルディング16階)TEL:06-6453-9285<br>東京支社:〒108-6030 東京都港区港南2丁目15-1<br>(品川インターシティA棟30階)TEL:03-5463-8501  |

